

今年

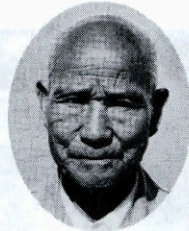
町制四〇周年(昭和十七年施行)

清風生誕二〇〇年

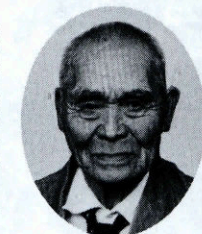
(天明三年〔一七八三〕四月二十六日誕生)

をむかえて

景色のよい健康で
住みよい町の栄を願う



野波 瀬
高野 興作



上中小野
田中 興七

こうして病氣もせず元気に居るのも部落の皆様の暖かいご慈愛と良き家族に恵まれた事と喜んで此の両手で合掌して毎日浜に出て海を見るのが私の唯一の日課としています。

景色の良い平和で健康で住みよい三隅町が栄えて行く事を願って、やみません。

昭和十七年十一月三日町制を施行されて以来今年が四十周年にあたる意義ある年です。

私は明治二十七年日清戦争の始まった年に生まれました。十歳になった二月すなわち明治三十七年に日露戦争がはじまっています。

学校卒業後家業である農業に従事し、耕作に専念し、地元青年団、消防団に籍を置き、住み良い郷土建設を願って、自分なりの活動を行い、特に消防団員として永年防火防災業務に従事し、十五年勤続表彰を受けました。時の戦時体制に直面し、大正四年現役兵として山口四十二連隊(現陸上自衛隊山口駐とん部隊)に入隊し軍務に服し、のちに在郷軍人会に籍を置き以後農業に服して一筋に精根を傾注し、増産増収を期して、農家の福利増進に働いてきました。

大正、昭和の困難な時代、戦後の食糧難時代は、農業にも、現代以上の厳しいものがありました。経済の成長、発展過程における、昭和三十六年には、農業基本法が制定され、将来における農家の生活水準向上を図る基本施策が定められました。県営は場整備が、実施され、機械化による農作業は以前には予想されなかったことです。安定成長、生産調整が続く今日では、減反、転作推進と新たな努力が要求され、創意・工夫と地域ぐるみ、協力、生産活動をしなければならぬ時代になりました。

私は老人福祉に関心をもち、老人クラブ活動、会の運営維持に当り、四十五年から老人家庭訪問員、遺族会のお世話をさせていただいています。

今年には、私にとりまして、八十八歳の長寿に当り、三隅町、山口県、郵政省から祝状をいただきありがとうございます。これも地域の皆さんの長い間の温かいご交情の賜ものと感謝致しております。

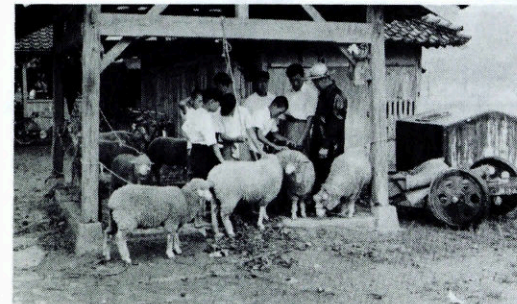
町制四十周年記念文化祭に展示する写真を探しております。みなさんがお持ちの古い写真を是非お貸し下さいませんか。たとえば、次のような写真があれば是非お願いします。

- 公民館まで。借用しました写真は、公民館で責任をもって保管いたします。
- 出征兵士を送る三隅駅、または終戦前後の三隅駅付近。
- 旧山本開作付近
- 三隅村役場とその付近の町並み
- は場整備以前の水田風景。

- (町内どこでも可)
- 旧久原土手、街道風景。
- 三隅八幡宮祭礼風景。
- 旧河川と水害写真。

○ 進駐軍キャンプに関するもの。
○ その他古い写真(明治、大正、昭和三十年代まで)なら何でもよろしいです。

お貸し願いませんか
みなさんお持ちの
思い出の写真
今はなき風景・建物の写真
40周年記念文化祭に展示



羊を飼育していた農家もあった

- 九月十五日に行われました町敬老会において、米寿四名、卒寿(九十歳)十四名の方に記念品が贈呈されました。その中でお二人の方から「私と四〇周年」の題で原稿をいただきましたのでここに掲載いたします。なお、敬老会当日記念品をお受けになられた方は次の方です。
- 米寿(八十八歳) 敬称略
- 村岡 リヨ 兎渡谷
 - 藤本ミドリ 麓
 - 田中 與七 上中小野
 - 藤木 常 明和苑
 - 卒寿(九十歳)
 - 光永 チヨ 下中小野
 - 池田 タケ 明和苑
 - 末永 ハル 明和苑
 - 山崎 ハツ 明和苑
 - 中村伊左衛門 市
 - 三戸 サツ 中村
 - 山崎シエノ 中村
 - 藤家 タケ 久原
 - 高野 與作 野波瀬
 - 中村 ハツ 野波瀬
 - 中谷治郎一 上東方
 - 朝枝 イチ 小島
 - 泉 シケ 浅田
 - 弘中 彌七 浅田

おめでとうございました